

顧客ニーズを捉えて良質の供養を妥協なく追求

(株)ヤシロ

「真の供養」を求め、 それぞれの声に誠実に応え続ける

関西一円で広く知られる「ヤシログループ」は、時代のニーズに応えるお墓のあり方を追求し続け、さくらの樹木葬や低価格ながら手厚い永代供養墓などを考案し、それを形にしてきた。〈供養〉と〈人〉を繋ぐ稀代の「お墓」コーディネーターである。その手腕とは。

「私たちの合祀永代供養施設は、まさに霊園のセンタープレイヤーです」と大阪府池田市にある公園墓地「北摂池田メモリアルパーク」を運営する「霊園墓石のヤシロ」社長・八城勝彦さんは、墓地内の中心部に立つ永代供養墓「なごみ霊廟」を指し示した。山を切り開いて造成したという「北摂池田メモリアルパーク」は、北摂の美しい山並みに囲まれ、自然と調和した美しい庭園のような公園墓地。10万㎡もの広大な敷地には、区画ごとにさまざまなコンセプトの墓石が整然と並んでいる。入口のすぐ右手には、ペットと一緒に眠れるお墓の「絆」という

区画もあった。そして、この公園墓地の中心部、小高い丘に立っているのが、前述の永代供養墓「なごみ霊廟」なのである。「最近では合祀施設のある霊園も増えてきていますが、無縁供養のようなポジティブなものも少なくない。しかし、私たちは永代に渡ってみんな供養することの合祀墓こそ、一番華やかで一番お参りしやすい場所にあるべきだと考えました」と八城さん。

この公園墓地のセンタープレイヤー「なごみ霊廟」では、月に1度の合同法要で曹洞宗天山寺の住職による供養が行



公園墓地「北摂池田メモリアルパーク」

われている。霊園墓石のヤシロといえ、今や関西方面では有名だが、まだ「なごみ霊廟」が一般に知られていない頃から、この毎月の供養は丁寧に行われてきた。「最近、宗教離れしている方が多くなってきたと言われているけれど、私はそうは思



西行の「願わくば、花の下にて春しなんそのきさらぎの望月のころ」の句をコンセプトにした、樹木葬さくら

アイナルアンサーの時間を設けているのです」
1年後、全てを納得した上で遺族は自身の手で合同供養墓へと遺骨を納めることになる。こうしたきめ細やかな対応がなされながら、この霊園で一番驚かされたのが、その価格である。納骨から永代供養まで含めた「なごみ霊廟」使用料一式が5万円というのだ。

「この値段を聞くと、多くのお客さまは大した供養もしてくれないのでは、と半信半疑で見学に来られます。しかし、月一回の合同供養祭に参加して頂いたり、霊園の環境、霊廟に並んだたくさんの方たちのお名前などを見て安心してくださる。見学に来た方実に9割近い方が契約していかれる状況です」
なぜ、このような金額と内容が実現できるのか。それは、徹底した顧客第一主義、そしてニーズを効果的かつ効率良く実現するための企画力・実行力にあるだろう。八城さんは言う。「私たちは、毎月のご合同供養祭のお知らせをハガキで送っています。納骨の方にも、2カ月前にはご案内のハガキを出して、ご遺族の意思確認を行っています。それぞれの方が、ご自分の理想とする供養が実現できるよ



代表取締役の八城勝彦氏

う丁寧なフォローに全力を尽くしています。お寺がこれを独自でやろうとしたら大変でしょう。ですから、私どもはお寺と供養を求める方とを結ぶコーディネーターだと自負しているのです」
利用者が求める事と自分たちができる事を徹底して追求し、効率化し実行する。ヤシロの低価格に特別なカラクリはない。墓石・墓地のプロフェッショナルとしての矜持と実直な取り組み、それが、「安心」な「終の棲家」を実現していたのだ。



本堂にある家族葬向けの祭壇

墓地のプロフェッショナルだから 実現できること

さらに公園墓地内にある天山寺本堂では葬儀も行われている。この葬儀の費用は「なごみ霊廟」での納骨と永代供養も込みで総額50万円だという。つまり、葬儀が45万円です。



「なごみ霊廟」。永代にわたり遺骨を供養し、管理される



この阿彌陀如来の元に埋葬される

いません。皆さん、ちゃんとしたお寺と供養を求める気持ちは変わっていないと思います。私たちはそのコーディネーター役だと思つてます。きちんと繋げば理想の供養ができるのです」

お墓を求めない人が 多数だったという現実

今、「北摂池田メモリアルパーク」では、個別のお墓ではなく「なごみ霊廟」を選ぶ人が圧倒的に多いという。次いで人気なのが「樹木葬さくら」。この「樹木葬さくら」は、平安の歌人西行の辞世の句をコンセプトに、桜の樹のもとに大切な人と13年間一緒に「お墓」に入り、その後「なごみ霊廟」に合祀され永代に渡って供養される。まったく新しいスタイルの期限付き使用のお墓と永代供養を組み合わせたヤシロオリジナルのお墓で、一

人用、夫婦二人用、あるいは家族用も用意されており、最後の人が納骨されてから13年間は墓地を使用できる。
もちろん、普通の区画販売のお墓も手がけているが、現在問い合わせや申し込みが殺到しているのは、永代供養墓「なごみ霊廟」、そして使用期限付きの「樹木葬さくら」だ。
「急速な少子化の影響で、通常のお墓を探している人よりも、お墓の継承に不安を感じている人の方が多かったということに驚きましたね。そうであればなおのこと、永代供養のお墓の法要は大切にしたいと考えました」
毎月、第2日曜日に行われる合同供養祭には、毎回300〜400人の参列があるという。なごみ霊廟の納骨法要にも毎月100名以上の人が訪れる。納骨の際には自らの手で故人の遺骨を納める。八城さんは、その際の遺族の気持ちにも寄り添う。
「後々、やっぱり合祀は止めておけば良かった…などと後悔する事がないよう、私たちはまず1年間、ご遺骨をお預かりしています。ご親戚が合祀に否定的だったりご遺族のお気持ちが変わったたりした場合にも対応できるように、1年間、フ